

● 廣告主へ御用の節はみづぶるに見たる御附記を乞ふ ●

新刊

(十二月二十日迄に寄贈を受けし分)

- 英 學 生 三ノ二、三
- イーラスト、エンド、ウエスト三、四
- ハカキ文學 十八
- 美術新報 四ノ十六、十七、十八
- 文 庫 三ノ三
- 山崎紫紅氏の赤石山登山記は近來の快紀行文
- 家庭の友 三ノ九
- 國民評論 十
- 體裁一變して紙質真好となれり
- 能 樂 三ノ十一
- 學 燈 九ノ十一
- 日本園藝雜誌 晩秋の卷
- 日本美術 八十二
- 寫眞月報 十ノ十一
- 東海中立新聞 每號
- 帝國文學 十一ノ十二
- 平 旦 三
- 内容は豊富喜ぶべし裏繪の戲畫はなくもがな
- 新 公 論 二十ノ十二
- 中央公論 二十ノ十二
- 歌 舞 伎 六十八
- 先 世 一ノ二
- 通俗學術雜誌の稱に背かず文字平易にして理解し易く知らず
- 廣き智識を得せしむ
- 校友會月報 三ノ三

- 東 西 社
- 同 日本葉書會
- 書 報 社
- 内外出版協會
- 同 東京純文社
- 國民評論社
- 能 樂 館
- 丸善株式會社
- 日本園藝會
- 日本美術社
- 小 西 本 店
- 同 帝國文學會
- 平 旦 社
- 新 公 論 社
- 中央公論社
- 同 發行 所
- 先 世 社
- 東京美術學校

● 新

潮 三ノ六

● 手紙雜誌 二ノ九

● 高等女學講義 第二學年の一、二

新 潮 社
有 樂 社

此種のもの世に多けれど、本書は有名なる人生地理學の著者牧口氏の主として經營せらるるだけありて、趣味と實益とよく調和し、他に勝る處少なからざるは尤も喜ぶべし

會 告

● 學校又は同志の間に、寫生會、エハカキ會等の設けあるものは、其景況をなるべく詳しく通報せられたし
● 前項團體及び個人の作品の現物、若くは寫眞を寄贈せらるれば、優秀なるものに限り、寫眞版に付して、本誌に登載すべし但作品ははがき大に限る

● 左の事項につき廣く投書を求む
■ 水彩畫に志せし最初の動機
■ 始めて戶外寫生を試みし時の感
■ 寫生中に起りし興味ある出來事
■ 畫を學びし爲めに得たる顯著なる利益
■ 其他水彩畫に關する意見報導小品文等
■ 以上切の期を定めず、半紙十行二十字詰にて、簡単に字體明瞭(假名は平假名に限る)に認められたし

● 繪畫及寄稿にして、本誌に登載せしものの内優秀なる作に對しては、主任大下藤次郎の肉筆繪葉書一葉を贈るべし
■ 投稿の返戻を望まるゝ方は相當の郵券を添へられたし
■ 水彩畫に關する質問にして、一般讀者に有益と認むるものは、答えを紙上に掲載すべし、但初めより返信料を添へられしものは直ちに答書を送るべし

● 眞野紀太郎氏は、遠近法に關する質問に答えらるべし。但複雑なる圖説を要するものは此限りにあらず